

年 組 名前：

外来カミキリ 県初確認

大月市内で1匹 果樹の枯死懸念

山梨県は7日、大月市内で、特定外来生物に指定されているカミキリムシ「クビアカツヤカミキリ」が県内で初めて見つかったと発表した。県によると、幼虫が桃などの樹木に入り込み、枯死の原因となる。現時点で周辺の樹木への被害は確認されていない。県は発見、捕獲した場合、関係機関への連絡や駆除を呼びかけている。

クビアカツヤカミキリは体長約2・5〜4センチ。全身は青みがかった光沢のある黒色で、胸部は赤色でとげ状に隆起している。幼虫が桜や桃、梅、スモモなどの樹木の中に入り込み、内部を食い荒らすことで樹木を衰弱させ、枯死の原因になる。

県自然共生推進課によると、7日朝、同市駒橋地区の市立図書館付近で虫捕りをしていていた親子が1匹を発見、捕獲し、図書館に持ち込んだ。図書館から県富士・東部林務環境事務所に連絡があり、県森林総合研究所がクビアカツヤカミキリと断定した。

事務所や市が周辺道路の街路樹などを目視で調査したが、他の個体や痕跡は発見されていない。果樹への被害が懸念されることから、県はJAを通じて農家に注意を促した。課の担当者は「繁殖や定着しているかは不明だ。見つけた場合は連絡してほしい」と呼びかけた。

クビアカツヤカミキリは4月末時点で、東京や埼玉、神奈川など17都府県で確認されている。

〈秋田大揮〉

(2026 年 7 月 8 日付 山梨日日新聞 22 面)

問1

県内で初めて見つかった

特定外来生物に指定されている

カミキリムシの名称を、

教えてください。

問2

このカミキリムシの特徴を

教えてください。

問3

このカミキリムシは、どのような害を及ぼしますか。

問4

あなたが知っている特定外来生物に指定されている生き物を、教えてください。